

2021 年行事予定

- 2月13日(土) 第1回常任幹事会
(Zoom 会議)
- 5月頃 第90回教育セミナー
(WEB セミナー形式)
- 5月21日(金) 第31回日本臨床検査専門
～22日(土) 医会春季大会
- 5月21日(金) 1回全国幹事会、
第58回総会、
生涯教育講演会
- 7月頃 第37回臨床検査振興
セミナー (詳細未定)
- 8月 会長・監事 選挙
- 9月上旬 第2回常任幹事会
- 11月11日(木) 臨床検査の日
- 11月11日(木) 第68回日本臨床検査医学
～14日(日) 会学術集会(富山)
第2回全国幹事会、
第59回総会・講演会
- 12月18日(土) 第3回常任幹事会(新旧合同)

【目次】

- p.1 巻頭言
- p.2 「臨床検査医学への提言」、事務局から
のお知らせ
- p.3 第37回臨床検査専門医認定試験について、第57回日本臨床検査専門医会総会
報告、2020年総会講演会報告、第67回
日本臨床検査医学会学術集会関連行事
報告
- p.4 2021年第31回春季大会のお知らせ、第68
回日本臨床検査医学会学術集会のお知
らせ、2021年行事予定、SARS-CoV-2 対策
掲示板のお知らせ、2021年度会費振込の
お願い、住所変更・所属変更に伴う事務局
への通知について、会員の声
- p.5 会員の声
- p.6 順天堂大学医学部 臨床検査医学講座准
教授または助教の公募、編集後記



りんしょう犬さんスタンプ
購入サイト

りんしょう犬さん LINE スタンプの検索方法

LINE→ウォレット→スタンプショップ



「りんしょう犬さん」を検索
検索結果→「クリエイターズ」を選択

<https://store.line.me/stickershop/product/8679516>

※ 収益が発生した場合は全て「臨床検査」の重要性を
社会に伝える活動に使用させていただきます

巻 頭 言

第31回日本臨床検査専門医会春季大会長
秋田大学大学院医学系研究科 医学専攻
病態制御医学系総合診療・検査診断学講座 准教授
植木 重治

第31回日本臨床検査専門医会 春季大会 テーマ：どさいぐ？ Where are we going ?

このたび、歴史ある日本臨床検査専門医会春季大会を秋田で開催させて
頂きます。期日は令和3年5月21日(金曜日)と22日(土曜日)、秋田駅に
隣接した秋田拠点センター ALVE での開催に向け準備を進めています。

急速な COVID-19 感染拡大によって第30回春季大会が残念ながら中止と
なったため(橋口先生の主催される鹿児島では2022年に開催予定です)、本
大会は2年ぶりの開催ということになります。臨床検査は COVID-19 に対
する医療体制の要になっており、このような世界にあっても私たち臨床検
査専門医には学びの交流を止めないことが求められています。準備の期間
もありますので、秋田では会員の事情に合わせて安全に参加ができるよう、
現地とオンラインを組み合わせたハイブリッド開催を予定しています。

世界はこれまでにない変化を遂げており、何年か経っても転換期として
位置づけられることになるのは想像に難くありません。ローカルとグロー
バルが共存する社会で、これから私たちはどこへ向かうのか、ということ
を考えさせられる時期だと感じています。

「どさいぐ？」は、「どこへ行く？」の秋田弁です。グローバルに理解して
もらえるよう英訳すれば、Where are we going ? になります。第31回の大会



テーマは、ローカルとグローバルな言葉
を並べたものにしてみました。答えはあ
りませんが、参加される会員の先生方が
次の一歩を少しでも力強く踏み出せるよ
うな春季大会になるよう、つとめたいと
思います。新緑の秋田でお会いできれば
いいのですが、それが叶わなくともバー
チャルで交流が深められることを楽し
みにしております。

事務局一同、誠心誠意準備いたします。
会員の皆様方のご支援のほど、どうぞ
よろしくお願い申し上げます。

会 期：2021年5月21日(金)～22日(土)

開催形式：現地会場 + オンライン (会場：秋田市拠点センター ALVE)

「臨床検査医学への提言」



小山田記念温泉病院
日本臨床検査専門医会名誉会員
登 勉

2020 年は COVID-19 に明け暮れた 1 年であったが、臨床検査及び臨床検査医学の課題が改めて浮き彫りになったと感じている。昨年 7 月、JACLaP NEWS 編集主幹の後藤和人先生から「臨床検査医学への提言」という仮題での執筆依頼をいただいたので、COVID-19 を通じて感じたことを臨床検査、臨床検査専門医、そして臨床検査医学という 3 つの視点からまとめてみたい。

1. 臨床検査

過去に何度も「時代が変わっても臨床検査は存続するが、関係する職種や臨床検査専門医が必要とされるかはわからない」と述べてきた。昨年 2 月 3 日に横浜港で検疫を受けたダイヤモンド・プリンセス号事例では、わが国で実施可能な SARS-CoV-2 検査件数の少なさがメディアで大きく取り上げられた。市中感染として拡大するにつれて、「必要な時に検査が受けられない」といった批判が検査対象を決める基準や実施体制に向けられていった。その後、行政検査に加えて臨床検査として保険診療の下で検査を実施する体制が整備されてきている。

今回のコロナ禍と 1918 年に世界的流行となったインフルエンザ (1918 Flu Pandemic、スペイン風邪) は、有効な治療薬がなく、ワクチンもない点で類似する。しかしながら、世紀を隔てて起こった 2 つのパンデミックの大きな違いは、診断キットの有無である。連日メディアでは PCR 検査実施件数が増えないという指摘とともに、感度、特異度、偽陽性、偽陰性、そして陽性予測値といった臨床検査に関連する用語が紹介され、臨床検査への関心が高まったことは事実である。しかしながら、検体採取条件 (採取部位や発症後の日数)、検査の検出限界、検査前確率 (有病率) などを考慮せずに、「PCR 検査は、患者の 7 割程度が陽性になるだけで絶対ではない」と結論付けるような論調になっている。臨床検査に関係する学術団体や業界団体は、臨床検査として提供されるまでの大きな流れと臨床検査の基礎的知識を様々な機会を通じて国民に啓蒙する必要があると考える。

2. 臨床検査専門医

「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 病原体検査の指針」の第 1 版が 2020 年 10 月 2 日に発行され、第 2 版が同年 11 月 2 日に発行された。病原体検査の指針検討委員会には厚生労働省健康局結核感染症課に加えて 12 名の委員が参加しているが、委員の所属学会・団体に日本臨床検査医学会や日本臨床検査専門医会はなく、日本臨床検査衛生検査技師会から委員が参加しているのみである。所属部門が検査部の委員は参加しているので、指針には臨床検査からの意見が反映されていると思うが、臨床検査専門医を認定している学会が SARS-CoV-2 検査の指針検討委員会に参加を求められないことを憂慮する。

臨床検査専門医会では過去にも法人化について議論されたが、ベ谷直人会長が法人化検討ワーキンググループを新たに設置し 2～3 年かけて検討することになった。2020 年度第 2 回常任幹事会議事録には「臨床検査振興協議会では、構成団体

で専門医会だけが任意団体なので、一般社団法人化も考えていきたい」というベ谷会長の発言が紹介されている。法人化の目的として「広告が可能な専門性資格」を認定する団体の基準を満たすことを加えていただきたい。そして、「会員数が 1,000 人以上であること、かつ、その 8 割以上が当該認定に係る医療従事者であること」を満たすべく、臨床検査専門医の育成に日本臨床検査医学会と協力して取り組んでいただきたい。

3. 臨床検査医学

臨床検査医学という学問分野は臨床検査医学教育と研究からなると考えるが、大学医学部における臨床検査医学講座は大変厳しい環境に置かれていることは本会教育研修委員会が 2017 年に実施した「医学部における臨床検査医学教育の実態調査」で明らかになっている。すなわち、講座が存在しているのは回答のあった 66 医学部のうち 39 (59 %) のみであった。残りは、検査部や他の研究分野に改組されていた。臨床検査医学教育を実施する体制の基本が崩れてきていると言わざるを得ない。講座の数のみでなく、教員の定員数にも変化があり、研究に割ける時間も限定されている。

現在、わが国でも新型コロナウイルス変異株が検出され、SARS-CoV-2 PCR 検査に加えて変異株を診断する検査が今後重要になると予想される。もし、変異株の検査法の提案を募集された場合、どれくらいの応募があるだろうか？臨床検査技師、検査薬企業、そして衛生検査所と連携し、臨床検査医学の研究・開発に貢献できる体制整備の重要性を痛感する。

おわりに

河合忠先生は、今後の臨床検査医学講座や検査部のあるべき姿について、「検査部教授では積極的に卒前・卒後教育はできないので、検査部と連携し臨床検査医学講座の充実に努力するとともに、他の診療科と共同で教育、研究を行う」ことが重要であると述べておられる (機器・試薬 2019; 42: 55-7.)。「臨床検査医学への提言」という大きなテーマに正解はないと自身に言い訳しつつ、僻見との誹りを恐れず COVID-19 に関連付けて述べた。

事務局だより

【事務局からのお知らせ】

【会員動向】

2021 年 2 月 15 日現在数 788 名、専門医 650 名

【新入会員】(敬称略)

岩津 好隆：自治医科大学分子病態治療研究センター
抗加齢医学研究部
横山 麗子：桜十字福岡病院
松本 剛：信州大学医学部附属病院 臨床検査部

【所属・その他変更】(敬称略)

正木 充：旧 兵庫医科大学臨床検査医学
新 まさき内科クリニック
森信 暁雄：旧 神戸大学医学部附属病院
膠原病リウマチ内科
新 京都大学大学院医学研究科
臨床免疫学 教授

【退会会員】(敬称略)

古田 朋子：
石井 周一：

永妻 晶子：慶應義塾大学病院
宇野 直輝：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
末広 寛：山口大学大学院医学系研究科
川上 徹：川崎幸病院
白川 敦子：住友別子病院
大神 英一：独立行政法人 医薬品医療機器総合機構
横山 宏：恵信甲府病院
藤川 潤：北野病院

【訃報】

新田 昭彦：新田クリニック 2020年9月5日ご逝去
ご冥福をお祈り申し上げます。

【第37回臨床検査専門医認定試験について】

日本臨床検査医学会主催の第37回臨床検査専門医認定試験が2020年9月12日～13日に、東京医科歯科大学で行われ、17名（うち日本臨床検査専門医会会員14名）が合格されました。合格おめでとうございます。今後のご活躍を期待します。

(50音順 / 敬称略)

井戸健太郎 井上 暢子 遠藤 康実 大枝 敏 小形 幸代
河端奈穂子 木村 聡 酒井 康弘 土井 美果 永川 明香
中澤 直美 中山 瞳 野上 彩子 安波 道郎 山崎 聡子
山本 英喜 吉本多一郎

【第57回日本臨床検査専門医会総会報告】

第57回日本臨床検査専門医会総会は2020年11月19日（木）に盛岡市アイーナにて開催されました。オンラインでも同時に配信され、現地参加31名と合わせ約200名の参加がありました。

＜審議事項＞

第一号議案：2021年度予算について（別表）

第二号議案：2021年度名誉会員・有功会員の推薦について
名誉会員：杉浦哲朗 先生、登 勉 先生
有功会員：石亀廣樹 先生、井上裕二 先生、岡田 基 先生、
越川 卓 先生、野村文夫 先生、橋本佳明 先生、吉河康二 先生
第三号議案：会則改定について

現行
第8章 第30条 有功会員の称号は、満70歳を過ぎた正会員で10年以上の会員歴があり、本会に貢献をした者で、幹事会が推薦し、総会で承認を得た者に対して授与する。
第31条 名誉会員の称号は、満70歳を過ぎた正会員であり、本会に多大な貢献（会長、副会長、監事1期以上、幹事2期以上、春季大会長、もしくはこれらに準ずる貢献）をした者で、幹事会が推薦し、総会で承認を得た者に対して授与する。
改定後
第8章 第30条 有功会員の称号は、満70歳を過ぎた正会員で10年以上の会員歴があり、本会に貢献をした者で、幹事会が推薦し、総会で承認を得た者に対して授与する。有功会員の称号は終身称号とする。

2021年予算案（別表）

		項 目	2020年度予算	2020年度決算 (中間報告)	2021年度予算案	備考
収入欄	入金	会員会費	6,535,000	5,585,000	6,535,000	注1
		賛助会員会費・寄付金	3,300,000	3,200,000	3,300,000	注2
		小 計	9,835,000	8,785,000	9,835,000	
	その他	広告収入	250,000	11,077	250,000	
		教育セミナー参加費	400,000	190,000	400,000	注3
		生涯教育講演会参加費	200,000	0	200,000	
		振興セミナー参加費	60,000	0	60,000	注4
		利息	1,000	861	1,000	
		小 計	911,000	201,938	911,000	
		入 金 合 計	10,746,000	8,986,938	10,746,000	
支出欄	庶務経費	事務所維持費	1,700,000	1,507,275	1,700,000	
		人件費	1,750,000	1,318,914	1,750,000	
		設備費	50,000	126,500	50,000	
		電話・FAX使用料	60,000	49,692	60,000	
		通信費（事務局）	210,000	169,531	210,000	
		事務局雑費	150,000	125,584	150,000	
		小 計	3,920,000	3,297,496	3,920,000	
	事業経費	印刷代	1,400,000	633,165	1,400,000	
		要覧印刷代	0	0	0	
		通信費	600,000	315,837	600,000	
		春季大会補助金	500,000	500,000	500,000	注4
		臨床検査振興セミナー費	850,000	244,200	850,000	注4
		教育セミナー費	650,000	277,951	650,000	注4
		会議費	1,000,000	132,043	1,000,000	注4
		交通費	100,000	51,680	100,000	
		宿泊費	30,000	0	30,000	
		原稿料	50,000	0	50,000	
		専門医ネットワーク維持費	100,000	12,540	100,000	
		HP維持費	330,000	0	330,000	
		会員管理委託費	132,000	66,000	132,000	
		広報活動費(委員会HP)	50,000	0	50,000	
		JCCLS会費	50,000	50,000	50,000	
		WASPALM会費	55,000	53,248	55,000	
		臨床検査振興協議会	300,000	0	300,000	
		内保連	200,000	200,000	200,000	
		予備費	429,000	0	429,000	
		小 計	6,826,000	2,536,664	6,826,000	
		出 金 合 計	10,746,000	5,834,160	10,746,000	
		収 支 決 算	0	3,152,778	0	

(2020年11月13日時点)

注1：2021年は会員(1万円)619名、有功(5千円)69名、名誉(免除)46名の見込み。例年70名ほど未納。

注2：賛助会員33社

注3：教育セミナー資料@5,000×申込者38名

注4：春季大会補助費、振興セミナー費、教育セミナー費、会議費は、2021年度の開催方式により必要経費が大きく変わる可能性がある。

改定後

第31条

名誉会員の称号は、満70歳を過ぎた正会員であり、本会に多大な貢献（会長、副会長、監事1期以上、幹事2期以上、春季大会長、もしくはこれらに準ずる貢献）をした者で、幹事会が推薦し、総会で承認を得た者に対して授与する。名誉会員の称号は終身称号とする。

第一号～第三号議案は承認されました。

＜報告事項＞

- 2020年度中間会計報告
- 各委員会等報告

【2020年総会講演会報告】

第57回日本臨床検査専門医会総会に引き続き総会講演会が開催されました。

本年は「with コロナ時代の臨床検査専門医試験」をテーマに山田俊幸先生、田部陽子先生、東田修二先生に講演いただきました。現地参加・WEB参加合わせて240余名の参加がありました。受講証明書の発行申請については返信は終了しております。

【第67回日本臨床検査医学会学術集会関連行事報告】

第67回日本臨床検査医学会学術集会における本会関連行事として以下の共催シンポジウムおよび共催ワークショップが開催されました。

＜共催シンポジウム＞2020年11月20日(金)

臨床検査専門医の近未来ー求められる独自性と連携性ー

＜共催ワークショップ＞2020年11月22日(日)

医学生～初期臨床研修医対象 RCPC（臨床検査専門医による検査・診断と生涯教育）

共催シンポジウム、共催ワークショップは日本臨床検査医学会の教育委員会、ワークライフバランス委員会、広報委員会と本会が共催しました。

【2021年第31回春季大会のお知らせ】

会 期：2021年5月21日（金）～22日（土）
大 会 長：植木 重治（秋田大学大学院医学系研究科総合診療・検査診断学講座 准教授）
テ ー マ：「どこいぐ？ Where we are going?（=どこへいく、の秋田弁）」
開催形式：現地会場＋オンライン
（会場：秋田市拠点センター ALVE）
詳細は決まり次第本会ホームページ等でご案内いたします。

【第68回日本臨床検査医学会学術集会のお知らせ】

会 期：2021年11月11日（木）～14日（日）
学術集会長：北島 勲（富山大学 理事・副学長）
テ ー マ：学際的臨床検査学のおもしろさを広げよう！
会 場：富山国際会議場、富山市民プラザ

【2021年行事予定】：詳細検討中の内容は後日 JACLaP WIRE 等でご案内いたします。

2月13日（土）第1回常任幹事会（Zoom 会議）
5月頃 第90回教育セミナー（WEB セミナー形式）
5月21日（金）～5月22日（土）
第31回日本臨床検査専門医会春季大会
21日（金）1回全国幹事会、
第58回総会、生涯教育講演会
7月頃 第37回臨床検査振興セミナー（詳細未定）
8月 会長・監事 選挙
9月上旬 第2回常任幹事会
11月11日（木）臨床検査の日
11月11日（木）～14日（日）
第68回日本臨床検査医学会学術集会（富山）
第2回全国幹事会、第59回総会・講演会
12月18日（土）第3回常任幹事会（新旧合同）

【SARS-CoV-2 対策掲示板のお知らせ】

（広報委員会五十嵐岳委員長より）

専門医会会員ネットワーク内の SARS-CoV-2 対策掲示板は引き続き開設中です。

PCR の技術関連、精度管理、検査者の PPE（個人防護具）等、内容は問いません。

検査管理体制の情報共有やそれらに関する疑問等、みなさまのディスカッションの場としてご利用ください。

SARS-CoV-2 対策掲示板 URL：

<https://bbs.jaclap.org/virus/index.cgi>

（閲覧には Password が必要です。閲覧をご希望の方は事務局までメールでご連絡ください）

【2021 年度会費振込のお願い】

2 月後半～3 月に年会費振込用紙をお送りいたします。振込をよろしく願いいたします。

尚、未納分のある会員の方々は合計額の振込をお願いします（納入状況は振込用紙に記載します）。

2021 年度年会費：10,000 円

（2021 年 1 月 1 日現在、70 歳以上の方は 5,000 円）

銀行名：ゆうちょ銀行

金融機関コード：9900

店番：019 店名：〇一九店（ゼロイチキユウ店）

預金種目：当座 口座番号：0020509

口座名：日本臨床検査専門医会事務局

ご自身の振込状況が不明な先生は、事務局まで E-mail または FAX でお問い合わせ下さい。過去 2 年間会費を滞納している先生には、Lab CP、JACLaP NEWS、要覧の発送を停止いたします。悪しからずご了承下さい。

【住所変更・所属変更に伴う事務局への通知について】

住所・所属の変更にとまって定期刊行物、JACLaP WIRE、電子メールなどの連絡が届かなくなる会員がいます。勤務先、住所および E-mail address 等の変更がありましたら必ず事務局までお知らせ下さい。ホームページからお知らせいただくことも可能です。

<連絡先> 日本臨床検査専門医会 事務局

（水・土日祝祭日は休業日）

電話：03-3864-0804 FAX：03-5823-4110

メールアドレス：senmon-i@jaclap.org

【会員の声】

ベッドサイドと検査室の架け橋としての臨床検査専門医

令和 2 年度の試験で臨床検査専門医に認定いただきました大阪市立大学血液内科の井戸健太郎と申します。今回の試験は、新型コロナウイルス感染対策を講じながらの実施であり、不安もありましたが、合格した今となっては、結果論ながら受験してよかったと思っております。

私は学生の頃から血液形態学に興味があったのですが、その頃は臨床検査医なる存在すら知らず、研修医になってからも出会ったことがなく、進路を考える上での選択肢にありませんでした。一方、学生時の病院実習先の血液内科の先生が、臨床検査を駆使した診断学／病態解析学と造血幹細胞移植を含む極限の薬物治療学の両方を実践しているように私の眼には映り、「自分で診断した白血病を自分で治療できる」血液内科医に憧れて、血液内科医局に入局することに決めました。その後、実はその医局が以前は臨床検査医学教室であることを知り、チャンスがあれば治療だけでなく本格的な診断学の立場からも血液内科臨床を眺めてみたいという思いが強くなっていきました。今思い返すと、旧制度最後の本試験にぎりぎり間に合うタイミングで大学院生として大学病院に戻って、臨床検査の研修も同時にスタートさせることができたのは、本当に運がよかったです。

臨床検査の世界に飛び込んでみてまず感じたのは、穏やかな先生が多く、臨床検査医同士の仲間意識がとても強いということです。この事実、臨床検査医学会とは別にこの臨床検査専門医会が存在することからも明らかだと思います。せっかく学んだ検査学的な知識・技術はもちろん今後も大切にしていきたいと思います。あのまま血液内科一本槍で進んでいるのは、本当に運がよかったです。

また、臨床検査の研修を進める過程で、血液内科診療をやっているだけでは気付かなかった臨床現場のいろいろな課題に気付くようになりました。特に、「臨床現場に伝わっている情報」が検査室にはたくさんあるのに、使われないまま眠っていると感じることが多くなってきました。臨床側は検査室・臨床検査技師のつかんでいる有益な情報を活かし切れていないし、検査側はベッドサイド・臨床医のニーズを十分に理解できていないのです。もっとお互いに歩み寄れば、検査室の持つポテンシャルを最大限に引き出した医療が実現するはずです。臨床検査専門医を取得した今、臨床現場を知る臨床検査医としてベッドサイドと検査室の架け橋になっていきたいと思います。

臨床研究を計画する立場から臨床検査を眺めると、今後さらなる発展が期待できる学術分野であることは論を俟ちません。新臨床研究法時代に入った今、介入研究は圧倒的にハードルが高く、一つ走らせるだけでも組織全体の体力を相当奪ってしまいます。そんな中で「昨日まで治らなかったはずの患者さんが治るようになる未来へのベクトルを加速させる」研究を展開するには、観察研究に活路を見出すべきと考えます。検査結果という膨大なデータの山を抱える臨床検査医学は、観察研究と非常に相性がいい分野なのです。もちろん昨今隆盛を極める機械学習・人工知能との相乗効果も期待できると思います。

現在、私は大学院を修了し、大学病院で血液内科臨床に従事しつつ、検査室業務と臨床研究の“三足のワラジ”を履いて充実した日々を送っております。まだ私の前足は一つ空いていますので、最後の足にどんなワラジを履こうかと今からワクワクしているところです。

最後になりましたが、今回の臨床検査専門医試験合格は、日野雅之教授、中前美佳先生、久保田浩保健主幹をはじめ多くの技師さんのご指導の賜物かと存じます。この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

(大阪市立大学大学院医学研究科血液腫瘍制御学
井戸健太郎)

臨床検査専門医試験を受験して

はじめまして。筑波大学循環器内科および臨床検査部に所属している中澤直美と申します。2012年に浜松医科大学を卒業し、聖隷浜松病院で初期研修を行った後、3年間循環器内科医として働きました。その中心エコー図領域をサブスペシャリティにしたいと思い、2017年に筑波大学循環器内科に入局と同時に大学院に入学しました。

普段は経食道心エコー検査や負荷心エコー検査に携わっています。また、大学院生として、臨床研究を行っています。心エコー検査や心臓MRIなどの画像を用いた研究や、弁膜症のカテーテル治療中に行う経食道心エコー検査にも携わっていることから、そのデータを用いた研究も行っています。心エコー検査に携わる中で、将来的に循環器を専門としながら検査部の仕事に携わることも考えるようになり、これからのキャリアの選択肢を広げるためにも、臨床検査医試験を受験することに決めました。

臨床検査医試験を受験する事を決めてから、既に専門医資格を取得している上司から対策法などのアドバイスを頂きました。資格を取得する上で、臨床検査に関わる幅広い範囲の知識や技術をある程度習得してから受験すべきかもしれませんが、私自身はこれまでは循環器診療にのみ携わってきたため、機能検査以外の分野には不安がありました。今年は新型コロナウイルスの影響で教育セミナーが中止となったため、専門医試験合格者体験談を参考にしながら、セミナーの資料

に書かれている内容を参考書で掘り下げて勉強する事を心がけました。勉強しながら、診断学に興味を持った初期研修医の時に、選択研修として聖隷浜松病院検査部でアイソザイムの判定などを教わったことが懐かしく思い出されました。普段の業務では携わることのない検査については、検査部の技師さんに教えていただき、実際に自分でいながら習得しました。ご指導いただいた、臨床検査医学 川上康教授、循環器内科 石津智子准教授、臨床検査技師の方々にこの場を借りてお礼申し上げます。

自分が専門とする心エコー図領域を中心としながら、今後も臨床検査に携わっていきたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

(筑波大学循環器内科・臨床検査部 中澤直美)

臨床検査専門医試験を受験して

2020年度の第37回臨床検査専門医試験に合格した土井美果と申します。現在は東海大学医学部付属病院臨床検査科に勤めております。

私は1999年に東海大学医学部を卒業し、2年間の初期臨床研修医ののち同院皮膚科へ入局いたしました。しかし、数年後には家族の看病・介護のため離職し、専業主婦として過ごしておりました。家庭の事情もだいぶ落ち着き、復職を考えたときには医業から離れて既に十数年のブランクとなっておりました。皮膚科専門医を取得せずに離職したことや、長期間のブランクや年齢のこともあり、自分が希望する条件での再就職は難しいのではないかと考えておりました。皮膚科専門医を目指して元の職場に相談しようかと考えていたちょうどその頃、東海大学医学部付属病院臨床検査科で働く大学時代の友人と浅井さとみ准教授に会う機会がありました。浅井先生から検査は全ての診療科に通じており、広く多角的な視点で患者さんを診ることができるとことや研究課題がたくさんあること、マイペースで学びを深めることができることなど臨床検査学の魅力を教えていただきました。そして皮膚科復帰と迷った挙句、「検査を専門にする医師」に興味を湧いたことから臨床検査専門医を目指すことにしました。

東海大学医学部付属病院臨床検査科は、宮地教授をはじめ医局員に相談しやすい明るい雰囲気の良い医局です。自分の仕事に対して些細なことでも上級医が褒めて伸ばしてくださいます。また、看護師・臨床検査技師の方々もとても親切です。入職したばかりの頃は、血液・骨髄検査、心電図、腹部超音波検査、表在超音波検査の所見の読み方など判らないことが多かったのですが、上級医や技師の方々が丁寧に教えてくださり、バックアップが整っているためブランクの長い私には大変ありがたい職場環境でした。おかげで今では多くの判読業務、特に皮膚科へ所属していた経験から皮膚科・形成外科領域の表在超音波検査の判読を中心に任せていただけるようになりました。

臨床検査専門医試験対策は教育セミナーの資料を中心に勉強しましたが、専門医試験を受験して気づいたのは、日々の業務と密接に繋がっているということでした。当院での血液総合診断では宮地教授を中心としてレポートを作成します。血液像や骨髄像は顕微鏡に繋いだモニターで教授が判読のポイントを説明してくださり、加えてフローサイトメトリーや蛋白電気泳動法の見かた、採血結果から推察される事柄、該当疾患に必要な検査なども教えてくださいます。血液学・生化学・免疫学・生理学などが一度に関連付けて聞くことができるため私にとってかなり勉強になりました。また、心電図、腹部超音波検査、表在超音波検査などの症例に豊富に触れたこと、ICTやASTのラウンドに参加し多職種の方々から専

門性の高い話が聞けたこと、検体部会に出席してその時々のトピックス・検査情報が聞けたことも良かったと感じています。また、医学部学生実習のお手伝いや自分が学生に対して行ったクルズス、送付された「臨床病理」を読んだことも専門医試験に役立ちました。精度管理や遺伝子検査については宮地教授が医局員に対してミニ講義してくださったことが勉強になりました。

専門医を取得するにあたり、医局全体で「頑張って専門医試験に合格してもらおう」という空気を作っていたことにより、仕事と専門医試験勉強が両立できたと感じております。宮地勇人教授と浅井さとみ准教授には数々のご指導を賜り感謝しております。仕事のサポートや陰ながら応援してくださった同僚の先生方、事務の方々、また手技など丁寧に指導くださいました臨床検査技師の方々にもこの場をお借りして御礼申し上げます。

これから知識や経験の足りないところは補いつつ、患者さん・病院・臨床医のお役に立てる臨床検査医を目指して精進していこうと思います。今後とも皆様からのご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

(東海大学医学部付属病院・臨床検査科 土井美果)

【順天堂大学医学部 臨床検査医学講座

准教授または助教の公募 (2021 年 02 月 28 日まで)】

- 1) 求人内容：医学部で臨床検査医学を担当する准教授または助教（経験および業績による）を募集します。
- 2) 仕事内容：附属病院検査部の管理業務、医学部および大学院における臨床検査医学の講義および実習、臨床検査医学の研究および大学院生の指導等。
担当科目：臨床検査医学
- 3) 勤務地住所：〒113-8421 東京都文京区本郷 2-1-1
- 4) 募集人員：1 名
- 5) 着任時期：令和 3 年 4 月以降でできる限り早い時期（選考期間により変更あり）
- 6) 職種：
 1. 准教授・常勤専任講師相当
 2. 助教相当
- 7) 勤務形態：常勤（任期あり）、再任可
- 8) 応募資格：
 1. 医師免許を有すること。
 2. 学位を未取得の場合は、助手での採用となる
 3. 臨床経験があることが望ましいが、専門分野は問わない
- 9) 待遇：当大学の規定による。
- 10) 給与・休日：
 1. 給与 当大学の規定による
 2. 賞与年 2 回、有給休暇あり

3. 休日：日曜日、第二土曜日、祝日、創立記念日、
年末年始 (12/29-1/3)
- 11) 雇用期間：2 年（ただし再任可）
- 12) 勤務時間：
 - 7 時間 10 分（平日：休憩を含まず）
 - 4 時間（土曜日）
- 13) 保険等：健康保険、介護保険、失業保険等の社会保障あり
- 14) 募集期間
2020 年 12 月 23 日から 2021 年 02 月 28 日まで必着
適任者の採用が決まり次第、募集を締め切ります
- 15) 応募・選考・結果通知・連絡先

1. 提出書類

- (1) 推薦書 2 通（任意書式：問い合わせ用の連絡先）
- (2) 履歴書 1 通（任意書式：4 cm x 5 cm 程度の写真貼付）
- (3) 研究業績目録 1 通（任意書式）
- (4) 主要論文の別刷またはコピー 5 編
- (5) 抱負 1 通（1,000 字以内）（書式任意）

2. 提出（郵送）先 及び問い合わせ先

〒113-8421 東京都文京区本郷 2 丁目 1 番 1 号

順天堂大学医学部臨床検査医学教室

教授 三井田 孝

電 話：03-3813-3111（内線 3371）

E-mail：tmiida@juntendo.ac.jp

HP：https://www.juntendo.ac.jp/graduate/laboratory/
labo/byotaikaiseki/

選考結果についてはこちらからご連絡致します。

なお、お送り頂いた応募書類は当方で責任を持って廃棄させていただきます。返送はいたしません。

JACLaP News には求人情報を掲載することが可能です。ご希望の方は専門医会事務局までご連絡ください。

(JACLaP News 編集主幹 後藤、広報委員長 五十嵐)

【編集後記】

あけましておめでとうございます。JACLaP News も含めて今年もよろしくお祈いします。今号より、第二ページ（裏面）に「臨床検査医学への提言（仮題）」として、ベテラン専門医より提言を伺うコーナー、第六ページに順天堂大学医学部より公募のお知らせを掲載させていただきました。賛否両論あるとは思いますが、JACLaP News を通じて会員数の増加・会員間の交流につながるように努めてまいります。JACLaP News への掲載依頼は、事務局ないしは私まで気軽にご連絡ください。

(編集主幹 九州大学病院検査部 後藤和人)

日本臨床検査専門医会

会 長：〆谷直人、副会長：菊池春人(法人化検討 WG)、村上純子(女性医師支援 WG)

常任幹事：東田修二(庶務・会計幹事)、五十嵐岳(広報委員会委員長)、田部陽子(教育研修委員会委員長)、東條尚子(資格審査・会則改定委員会委員長)、
福地邦彦(情報・出版委員会委員長)、増田亜希子(ネットワーク運営委員会委員長)、三井田孝(保険点数委員会委員長)、横崎典哉(渉外委員会委員長)

監 事：土屋達行、古川泰司

全国幹事：伊藤弘康、稲葉 亨、植木重治、大西宏明、上岡樹生、北中 明、木村 聡、木村秀樹、下 正宗、千葉泰彦、中島 収、中村聡子、藤井 聡、
松井啓隆、松野容子、山崎悦子、山崎正晴

情報・出版委員会：

委員長：福地邦彦

委 員：五十嵐岳、出居 真由美、後藤 和人、信岡 祐彦、盛田 俊介、吉田 博

日本臨床検査専門医会事務局

〒101-0027 東京都千代田区神田平河町 1 番地 第 3 東ビル 908 号

TEL：03-3864-0804 FAX：03-5823-4110 E-mail：senmon-i@jaclp.org